



にいざ 歴民だより

平成 27 年 7 月（第 13 号）

発行：新座市立歴史民俗資料館

新座市片山 1-21-25

TEL:048-481-0177



【園庭で賑わうカシワバアジサイ】



【キュートな七夕かざり】

今年の梅雨は、各地で記録的大雨となり、肌寒い日が続きました。

7月19日、気象庁は「関東甲信地方は梅雨明けしたとみられる。」と発表しました。

平年と比べて梅雨入りは同じ（6月8日ごろ）でしたが、梅雨明けは平年（7月21日ごろ）より2日早く、昨年より2日早い梅雨明けとなりました☀

関東の梅雨は長期化している傾向があるようですが、梅雨も悪いことばかりではなく、園庭のアジサイをはじめとした草木は一斉に賑わっています。

今年の七夕は、ガイドボランティアの方からいただいた七夕かざりを事務室前に飾らせてもらいました。キュートさが好評でした♪

梅雨が明けたら待ちに待った夏休み！資料館では子どもたちの宿題のきっかけづくりとして今年も「夏休み子ども講座」を開催しますので、奮ってご参加ください！

「市内文化財めぐり～片山周辺を歩く」を開催しました。



毎回、好評をいただいている「市内文化財めぐり」。今回は、「片山周辺を歩く」と題して7月25日（土）に実施しました。

片山地区の地域性を物語る中沢用水から妙音沢に沿って法台寺までの約5キロのコースを市学芸員のガイドを受けながらめぐりました。酷暑の中、参加者の皆さんも、身近なところに点在する文化財にも出会い、半日の行程もあっという間に過ぎた楽しいひとときでした。

「夏休み子ども講座」を開催します！

今回は、趣向を変え、「僕が子どもだったころ」～昔のにいざの子どもたち～と題して、昔の新座の子どもたちの暮らしや遊びについて、新座市に生まれ育った滝島浩二さんをお招きして、お話を伺います。

日時：平成27年8月21日（金）午前10時～正午

場所：歴史民俗資料館研修室

対象：市内在住の小学3年生～6年生及び保護者 計30名（先着順）

申込み：8月1日（土）から、直接又は電話で歴史民俗資料館へ（月曜休館）

展示品の紹介 ～人面把手～

～じんめんとして～と読みます。資料館の展示室に入って左側、展示ケースの中にあります。縄文中期（約5,000年前）のもので、池田遺跡から出土しました。（把手といってもつまみではなく、土器の口縁につけられた突起状の装飾のことです）。顔面把手とも呼ばれています。こうした人面把手の分布の中心は、山梨・長野両県にまたがる中部高地ですが、関東地方南西部でも、ときどき出土することがあるようです。

人面把手付土器は、通常の煮炊きに用いるものではなく、特殊な用途に使用する特別な土器であった可能性が考えられています。

柔和な表情の人面把手を展示室でご覧ください。



催し物のご案内

※詳しくは広報や「歴民だより」でその都度ご案内します。

9月下旬：「市内文化財めぐり～片山周辺を訪ねて
Part2～（予定）」

11月3日（文化の日）：「文化の日特別講座」

28年1月下旬：「新座の地名とその由来～地名に秘め
られた物語～」

他にも色々と企画中です。乞うご期待！！



※写真は今年の「歴民の集い」
松平伊豆守をテーマとした
講談の模様です。